天地人

練馬区立上石神井中学校
第三学年 学年便り【第１０号】
令和８年７月９日 発行

～ 天の時 地の利 人の和 ～

卒業生から素敵なプレゼント



３年Ｄ組の教室前にある二つの花は、昨年度本校を卒業した生徒が高校で育てて持ってきてくれた花です。植物が大好きで、悩んだ末、今通っている高校を受験して入学したそうです。「(高校で) 様々な植物を栽培し、暑い中での作業は大変だけど楽しく学んでいます」と生き生きと報告していました。部活はバイオ部と合気道部に入り、とっても充実した学校生活を送っているそうです。

３年Ｄ組前に置いている先輩からの花。これを見て、夏休みに向けてエネルギーをもらい、勝負の夏に突入しましょう。

一流に触れる✨

「都会と田舎、どちらがいいか」ということをふと考えることがあります。プライベートの時間を考えると、空気がきれいな田舎でゆっくり流れる時間の中、好きなことをして過ごし、採れたてのおいしい野菜や海鮮を食べる生活の田舎は非常に魅力的です。老後は田舎と決めています。一方、都会の大きな魅力は刺激が多いことだと思います。何より、“一流が身近”にいる（ある）というのは本当に素晴らしいことだと常々感じます。たとえば、様々な競技の全国大会が近くで開催されていたり、有名人の講演会に公共の交通機関ですぐに行けたりします。教員になって、部活動の生徒を連れて都大会決勝を見に行った時には「こんな間近で、レベルの高い選手を見られるなんて」と感動したのを覚えています。

今回、東京都が行っている「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」という事業で元バスケットボール日本代表の伊藤俊亮さんが来校し、貴重なお話や実技指導をしてくださいました。国内でも、いくつものトップチームを渡り歩いたまさに“一流”選手です。２０４ｃｍというその体格にまず圧倒され、そして講演内容に刺激を受け、生徒にとっても一流に触れられたとても貴重な時間になったと思います。これから受験の取り組みが本格化していくこのタイミングで、伊藤さんの経験談をふまえたお話は生徒にとってとても素晴らしい時間となりました。



3D の生徒が、毎日水をあげています。



みんなとってもいい表情です。(小さくて見えないと思いますが…)

素晴らしい司会と立派な生徒代表あいさつをしたバスケットボール部の　　君、　　さん、　　くん、　　さんも活躍してくれました。そして、クラス対抗戦は激闘の末Ｂ組が優勝しました✨